

廃棄物減量および資源化に向けた主な取り組み（毎年実施している市の取り組み）

取り組み	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<p><b>ごみの分別・減量についての啓発</b>                      [継続]                      【内容】                      ごみの分別・減量について、各種講座で説明。</p>	<p>(わく湧くお届け講座)                      1回 25人                      (外国人技能実習生研修)                      11回 177人                      (小学校出前講座)                      4回 44人</p>	<p>(わく湧くお届け講座)                      6回 101人                      (外国人技能実習生研修)                      3回 60人                      (小学校出前講座)                      5回 97人</p>	<p>(わく湧くお届け講座)                      2回 14人                      (外国人技能実習生研修)                      0回 0人                      (小学校出前講座)                      5回 112人</p>
<p><b>資源有効利用促進事業補助</b> [継続]                      【内容】                      古紙類の集団回収に対して補助を行う。(6円/1kg)</p>	<p>(参加団体) 49団体                      (回収量) 328トン                      (補助金額) 1,968千円</p>	<p>(参加団体) 40団体                      (回収量) 240トン                      (補助金額) 1,439千円</p>	<p>(参加団体) 39団体                      (回収量) 215トン                      (補助金額) 1,293千円</p>
<p><b>シュレッダー紙くずの資源化</b>                      [H23年度から]                      【内容】                      事業所から排出されるシュレッダー紙くずについて、資源化する。                      シュレッダー紙くずは、直接古紙回収業者に持ち込むか、ビュークリーンおくえつに持ち込む。</p>	<p>(大野市役所からの資源化量)                      1.92トン                      (ビュークリーンおくえつからの資源化量)                      7.40トン (大野・勝山の合計)</p>	<p>(大野市役所からの資源化量)                      1.86トン                      (ビュークリーンおくえつからの資源化量)                      5.91トン (大野・勝山の合計)</p>	<p>(大野市役所からの資源化量)                      2.40トン                      (ビュークリーンおくえつからの資源化量)                      5.98トン (大野・勝山の合計)</p>

## 廃棄物減量および資源化に向けた主な取り組み（事業者等の取り組み）

取り組み	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績
<b>大野福祉会による缶類の市内拠点回収・資源化</b> [H20年度から] <b>【内容】</b> 障害者自立支援事業として市内の約130箇所の事業所等拠点から、缶類、ペットボトルを回収し資源化を行う。	<b>【回収量】</b> スチール缶 13.8トン アルミ缶 12.7トン ペットボトル <u>26.2トン</u> 合計 52.7トン	<b>【回収量】</b> スチール缶 8.4トン アルミ缶 9.4トン ペットボトル <u>19.1トン</u> 合計 36.9トン	<b>【回収量】</b> スチール缶 9.0トン アルミ缶 7.7トン ペットボトル <u>21.6トン</u> 合計 38.3トン
<b>スーパーによる店頭での資源回収</b> [H23年度から] <b>【内容】</b> スーパーの取り組みにより、店頭で資源物（缶類、ペットボトル、古紙類）の回収を行う。	<b>【回収量】</b> 缶類 16.6トン ペットボトル 26.6トン 古紙類 <u>325.4トン</u> 合計 368.6トン	<b>【回収量】</b> 缶類 16.7トン ペットボトル 26.0トン 古紙類 <u>326.0トン</u> 合計 368.7トン	<b>【回収量】</b> 缶類 14.6トン ペットボトル 22.9トン 古紙類 <u>318.3トン</u> 合計 355.8トン
<b>生ごみのたい肥化</b> [H24年度から] <b>【内容】</b> 消費者団体が中心となって、陽明中学校に設置している生ごみ処理機で、給食の調理くずなどを利用した堆肥の生成を行う。	931kgの生ごみを投入	1,393kgの生ごみを投入	858kgの生ごみを投入

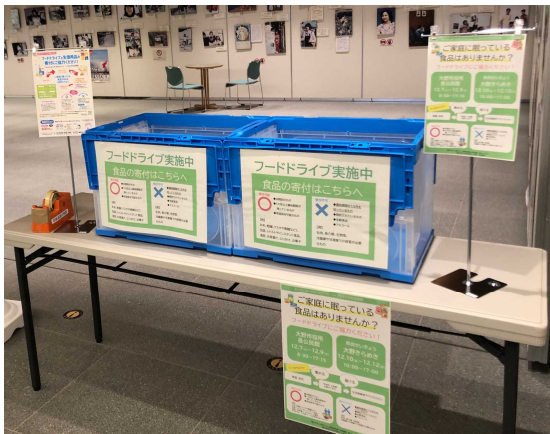
## 令和 3 年度の廃棄物減量化及び資源化に向けた取組（新規）

## ○フードドライブの実施（R3.12月）【別紙1】

福井県民生活協同組合と連携し、各家庭の余剰食品の寄付を受付  
集まった食品は、大野市自立相談支援センターふらっと、児童養護施設へ

実績

- ・ 乾麺、缶詰、インスタント、レトルト食品、お菓子などの食品  
836 点 （重量 337.5 kg）
- ・ 米 650 kg



## ○宅配便を活用した使用済み小型家電リサイクルの推進【別紙2】

小型家電リサイクル法に基づく環境省・経済産業省の認定事業者である「リネットジャパンリサイクル株式会社」と協定を締結し（R3.12月）、宅配便を活用した小型家電の回収サービスに参加。

実績（R3年度：協定締結～R4.3月末）

パソコン（50台）、携帯電話（14台）、その他小型家電 合計 353.7 kg

（リネットジャパンリサイクル株式会社について）

- ・ 2017年、関連会社のリネットジャパングループ株式会社は、東京オリンピックでの『みんなのメダルプロジェクト』の幹事会社を務めた。
- ・ 現在全国約600自治体が連携。県内では、勝山市、坂井市、若狭町、おおい町が参加している。

## 【その他の取組】

### ○イベントでの食品ロス削減啓発パネル展示【別紙3】

越前おおの食守フェスタにおいて、食品ロス削減に関するパネル展示を実施。

- ・令和3年10月1日（金）～5日（火）

### ○食品ロスに関する学習会の開催【別紙4】

福井県民生活協同組合から講師を招き、大野市消費者グループ連絡協議会と共催で、「SDGsと食品ロス」をテーマとした学習会を開催。

- ・令和3年11月16日（火） 参加人数28名

### ○外食時の「おいしい食べきり」全国キャンペーン【別紙5】

- ・大野商工会議所へ協力依頼

キャンペーンチラシを会報誌（12月発行）とともに配付してもらい、会員へ周知

- ・飲食店・旅館への協力依頼

飲食店等を訪問し、キャンペーンチラシを配付

## 【令和4年度の取組】

### ○家庭用生ごみ処理機使用モニター【別紙6】

大野市消費者グループ連絡協議会に委託。生ごみの投入量等使用状況を報告していただき、生ごみの減量化、堆肥化についての成果や課題を抽出する。

### ○市の廃棄文書のリサイクル

これまで焼却処分を行っていた個人情報等を含む機密文書について、全てシュレッダー処理を行い、リサイクルする。（R4実績 8,050 kg）

### ○プラスチックごみ削減施策

福井県ごみ減量化推進部会において、新たな施策の検討を行う。